

ASC-7216T 設置に関する注意事項



【設置環境・被測温者に関する注意事項】

- ・本装置から 0.5メートル先の最小照度は 100ルクス以上が必要です。
- ・窓やドア、ライトから 3メートル以上離れた屋内に設置してください。
- ・バックライトや直射日光を避けてください。
- ・屋内の風のない環境（屋外から比較的離れた場所）に設置し、測温時は周囲温度を 15℃～32℃ に維持してください。測温環境が 15℃未滿、32℃以上の場合は正確な測温ができません。特に風除室などの屋内と屋外に直接面する領域、屋外からのドアの開閉に面する領域では、周囲温度が不安定になりやすいため正確な測温が出来ない場合があります。周囲温度が安定した場所を選んで設置してください。
- ・適切な屋内環境がない場合、（屋内と屋外の領域に直接面する領域、および屋外の出入り口を含む）、温度を監視するために、周囲温度が安定した一時的な場所を設置してください。
- ・本装置は顔認識と同時に顔全体の表面温度を測温しますので、前髪によって額の露出が少ない被測温者は高温であっても低い温度で表示される場合があります。被測温者が前髪などで額の露出が少ない場合は、前髪を上げ額を露出して測定するようにしてください。
- ・日光、風、冷気、冷房と温風の空調などの要因は、人体の表面温度と本体の動作状態に影響を及ぼしやすく、モニターされた温度と実際の温度との間に温度偏差が発生します。
- ・被測温者の発汗は、気化熱の影響で表面温度に著しく影響を与えます。（発汗時の表面温度は体温と比較してかなり低くなります。）

【機器仕様に関する注意事項】

- ・本装置を使用するには、電源投入後約 30 分のウォーミングアップが必要です。本装置の温度が低い場合や、ウォーミングアップ中に測温した場合は通常より高く測温されます。
- ・温度監視ユニットは、波長 5～15μm の光波に敏感です。光波（赤外線）を放出する太陽の下、蛍光灯の光源、エアコンの吹き出し口、暖房、冷気の吹き出し口、ガラスの表面付近での使用は避けてください。

【個人情報保護に関する注意事項】

- ・本装置のカメラで撮影する顔画像は個人情報保護法における「個人情報」に含まれます。設置者は、被撮影者に対して、カメラにより自身の個人情報が取得されていることが認識できる処置を講ずる必要があります。
※告知例：「本装置は感染症予防のために、顔認証システムを利用した体表面温度の測温を実施しております」の表記
- ・本装置で取得した顔画像データの 6 カ月以上の保有は、「保有個人データ」となり、本人からの開示、内容の訂正、利用の停止等の請求に応じる義務が生じます。6 カ月以内に定期的にデータの消去をお願いします。（顔画像データの保存が必要ではない場合、保存を行わない設定でご使用下さい。）
- ・本装置を従業員の勤怠、健康管理等に利用する場合、就業規則等に、取得顔画像の利用目的、画像データの管理等についての規定を設ける必要があります。